

三川指導部が

職場新聞まつり



五月二十六日の日曜日のこと、三川指導部は第四回職場新聞まつりを催しました。大にきいでしたが、教えられるところが少くありませんでした。そのときの感想が、同指導部の前川哲也さんから寄せられてきました。ご紹介します。



ほほえましい表彰式風景。まだ発行されていない新聞にまでも賞が……

全ての職場に新聞を

物語っていた闘いの歴史

三川指導部 前川 哲也

三川指導部、おでんに焼きとりをつまみ、福ひきをひき当てる。かあちゃんへの手みやげだ。楽しい一日となった第四回三川指導部職場新聞まつり。

職場分会対抗の囲碁大会。書画や詩歌、生花、盆栽などの展示。多くの人がこの参加により、まつりは名実共に指導部ぐるみの祭へと発展していった。

十九職場分会のうち、みちび(第一分会)、まつ岩(第二分会)、やまなり(第七分会)、なかま(第八分会)、あせ(第十分会)、もっこす(第十一分会)、

性格・もち味を示し、この日の参加者の目を惹きつけ、心をゆさぶる。各新聞に目を通すことがそのま、人間として生きるためにお互いが闘っている事実を確認し合う場ともなっていた。

それぞれの分会の中の苦悩や喜びが、一字一語刻まれた一枚一枚の新聞。それは大きなはげし

三池と怒りを共有し——
労災絶滅のため闘う

北摂労災対策会議代表が誓う

本紙一面記事にあるように、北摂地評労災職業病対策会議から、豊田正義さんを代表とする十八人の交流団が交流を求め来組した。二十八日にやってきて翌二十九日に去っていったが、同交流団は三池を離れる際、三池労組と組合員・家族、三池大災害裁判闘争を闘う原告団に対し、「三池との共同の闘いを広げ、闘いのキズナを強くしよう」と、次の誓いを残していった。

×

これは、三川指導部十分会新聞の「あせ」が伝えた、とある日の職場での様子だ。

いらんあごを

たたくな

「あせ」の事記

ひとと車かふた人車かおくれくる。係員が、いっしょにさがつてきました。

若い人達は、朝起きてすぐには飯がいけないものとええ、休憩所に着いたら弁当の半分位を食べています。

これは、炭鉱の伝統のようなものではないか。

人車の中で飯を食うことにはなつとら。また仕事の都合で、屋敷がなくなる時が三三三。朝ちよつと食べておくと、大分違うんだ。

係員は仕事せんで腹の減り具合が違ふが、いっしょにしてみろってば。

「青空」の目

平和協定。中労委にあつせん申請するにしても、そのための会社の了解がいるぞな。ガンジガラムの新労組。労働者をしるもの破壊めぞう。

×

特定休日が一日増え、十二日となる。ストライキをかけて闘いつた労働者の権利。出炭のために折角とった特定休日を売り渡すなど、ヒラに御勘弁願いたい。

(以上、三川指導部十分会新聞「あせ」のコラム)

三池もともに
ガンバンベ

茨城の井坂さんから来信



このほど、それに自分たちは、なぜ働かねばならないだろうか。常識的に言えは、結婚したらやめたい。せめて、子どもが生まれたらやめたい、と思つていました。だげど、現実にはやめられない経済的な問題がある。

それから、学習会がされるようになりまして。悩んでいるのは一人じゃないんです。

メンバーの一人、民間工場で働くNさんに配転攻撃がかけられました。休みが多い、結婚後の遅刻が多いなどの理由からでした。市職の書記をしているTさんは子供を保育園に預ける時かわいそうだと思つてしまいます。しかしやめるわけにはいかないのです。そういう点を話し合い、学習しています。これから、私たちの「ブロック」からも原稿を送らせていただきます。

×

主婦会といつても三池主婦会のようなく組織ではなく、私達は日立機工で働く労働者の家族・妻たちの集まりです。

私たちは、多くの疑問をもっています。夫たちの低賃金はなぜだろ。お父さんたちの能力がなから差別されるのだろうか。ガンバンベ。

編集者もガンバンベ。とくに

ピラ・ブロックさわの紙面

三池もともに
ガンバンベ

茨城の井坂さんから来信

このほど、それに自分たちは、なぜ働かねばならないだろうか。常識的に言えは、結婚したらやめたい。せめて、子どもが生まれたらやめたい、と思つていました。だげど、現実にはやめられない経済的な問題がある。

それから、学習会がされるようになりまして。悩んでいるのは一人じゃないんです。

メンバーの一人、民間工場で働くNさんに配転攻撃がかけられました。休みが多い、結婚後の遅刻が多いなどの理由からでした。市職の書記をしているTさんは子供を保育園に預ける時かわいそうだと思つてしまいます。しかしやめるわけにはいかないのです。そういう点を話し合い、学習しています。これから、私たちの「ブロック」からも原稿を送らせていただきます。

×

主婦会といつても三池主婦会のようなく組織ではなく、私達は日立機工で働く労働者の家族・妻たちの集まりです。

私たちは、多くの疑問をもっています。夫たちの低賃金はなぜだろ。お父さんたちの能力がなから差別されるのだろうか。ガンバンベ。

編集者もガンバンベ。とくに